

	学習活動	指導の留意点	□評価 ○支援の手立て
導入 10分	1、「宿題」のチェック 2、江戸の社会の様子を確認 ①人口100万人を抱えた17世紀の江戸のまちの様子を予想し発表する ・人口集中 ・道が混雑 ・ごみが多量 ・食料不足 ②予想に反して江戸の町ではあまりごみがでなかったことがわかる 3、学習課題の確認	・授業と連動した家庭学習の確立を図る ・現代社会と比較させたり、関連付けたりさせながら予想させる ・ヨーロッパと江戸との下水道の発展の違いやごみ問題に焦点を当てて理解させる	○机間巡視によるチェック ○観察 *写真資料1「東京と江戸の比較」 *資料2「シュリーマン旅行記」 *学習プリント
江戸の人々の暮らしの知恵から、〇〇を学ぼう			
展開 30分	4、江戸の人々の暮らし ①江戸の人々の暮らしの知恵やリサイクルについて調べ、発表する。 ・ゆかたの再利用 ・古着屋（着物のリサイクル） ・灰買い（灰のリサイクル） ・紙くず買い（紙のリサイクル） ・し尿買い（し尿のリサイクル） など 5、現代に生かせること ①江戸の人々の暮らしの知恵の中で、取り入れられるものがないか考え、発表する ・プリントの再利用 ・古着の活用 ・壊れたら修理・修繕 ②100万人のエコマナーを理解し、学べる点はないか考える。	・江戸時代には、資源を再利用するシステムが出来上がっていたことを理解させる ①不要品の再生のための回収業者 ②修理・修繕業者 ③再生品・中古品の販売業者 ・無駄なく有効に資源を使おうとしている江戸の町の工夫に気づかせる ・感想を発表させる程度に扱う	*資料3「江戸のエコ社会」 *資料4「江戸の町は地球にやさしい」 □資料からどのようなリサイクルが行われていたか読み取っている（技能） □江戸の人々の生活について理解し、現在の生活に生かせる点を考察している（思考・判断） *資料5「100万人のエコマナー」
終末 10分	6、振り返り ①今日の授業から学んだこと・これからの生活で生かせることをまとめ、発表する	・学習課題にもどり〇〇に当てはまることばを考えさせる。 ・江戸の人々の暮らしの工夫から何を学んだのか、考えさせる ・学習プリントを回収・評価する	○机間巡視 □自分のことばで記述することができたか（表現）